



学 ぶ

佐世保市立山澄中学校
学校だより 第19号
令和8年1月8日
校長 後藤 益拓

学校教育目標 「気づき、考え、正しいことを実行する生徒の育成」
校訓 「健康・自主・責任・礼儀」

生徒会スローガン 「全力謳歌～共に高みを目指して～」

あけましておめでとうございます

本日より、今年度の最終学期である3学期が始まりました。朝の冷え込みが厳しい中ではありましたが、今年最初となる生徒たちの元気に登校する姿を見てうれしい気持ちになりました。

3学期は、3年生は義務教育最後の学期となります。また、1、2年生にとって、次の学年に進級するための大事な準備期間でもあります。始業式では、それぞれの学年に向けて私の思いを伝えましたので紹介します。

1年生は、4月になれば、「先輩」になります。新入生を迎え、教える立場になるのです。この3学期は、中学生としての自覚をさらに深め、「良きお手本」となる準備をして過ごしてください。また、2年生は、この山澄中学校のバトンを引き継ぐ時期が来ました。3学期は、最高学年として、「学校の顔」となる準備をする大切な学期であり、これまでの伝統をどう守り、どう新しくしていくのか。自分たちの目指す学校の姿を、行動で示して行ってください。そして、3年生は、中学校生活の総仕上げ。進路の実現、つまり受験に向かう大事な時期であること。しかしそれと同時に、この山澄中学校に「何を残していくのか」を考える学期でもあります。皆さんの真剣な姿、温かい言葉、そして卒業式の堂々とした姿。そのすべてが後輩たちの進む道となります。最後の日まで、山澄中生としての誇りを持って過ごしてください。

生徒たちは、寒い中、真剣な面持ちでしっかりと私の話を聞いていました。

「1月は行く 2月は逃げる 3月は去る」というように、3学期はあっという間に過ぎ去ります。一日一日を大切に、どの学年にとっても、自分自身の成長を実感できる3学期にすることを期待しています。

「させほ徳育推進フォーラム2025に参加して

12月13日に開催された「徳育推進フォーラム」に参加してきました。「まちなか徳育推進標語コンクール」入賞作品の表彰式やワークショップがありました。また、「対話がつなぐいろんな世代～徳育の輪・和・話～」と題して実践発表をインタビュー形式で行うなど最後まで、興味関心が高まる内容と形式で楽しむことができました。今回の参加で、対話に関して「人の話はしっかりと傾聴して、相手の話を否定しない」ことで「人は安心して話せる」ことを学び、授業中の発表にも参考になる話だと感じました。

生徒会引き継ぎ式

本日、生徒会引き継ぎ式が執り行われました。旧役員から新役員へと校旗が手渡された瞬間、「責任」と「山澄中への想い」がしっかりと受け継がれたように感じました。旧役員たちは、学校のリーダーとして、より良い学校づくりのために尽力しました。一人ひとりの言葉からは、やり遂げた充実感と感謝の気持ちが溢れていました。新役員からは会長が述べた「これからの山澄中を自分たちが創る」という力強い決意表明は、非常に頼もしいものでした。全校生徒が力を合わせ、山澄中学校がさらに発展することを期待しています。



鮮明な画像等は、ホームページをご覧ください。